

BRIDGEPLUS

関東労災病院医療連携情報(6月14日号)

● Information

□ クローズアップ診療 (消化器内科)

□ 数値で見る医療連携状況 (平成29年度)

□ トピックス～準個室病床の導入～

□ イベント情報(6月～7月) etc

病院の風景：「看護フェア」

(5月12日 当院1Fロビーにて)



～当日は多くの患者さんに足を運んでいただきました～

本誌へのご意見、ご要望がございましたら、右記 mailへお寄せ願います。地域医療連携の充実に役立てていけるよう努めてまいります。

発行人：地域医療連携室

☎044-411-3131

mail:renkei4@kantoh.johas.go.jp

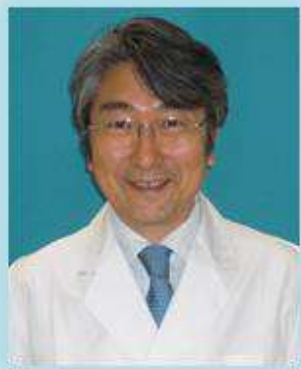


BRIDGEPLUS

クローズアップ診療（消化器内科）

消化器系疾患は、地域における受療ニーズが非常に高い疾患の1つであり、当院の年間取扱入院症例数においても、常に上位に入る主要な疾患です。このような医療需要情勢において、平成30年度から新たな部長を含め、5名の消化器内科医師が当院に加わるようになりました。今回は、新たな体制により取り組む消化器内科をクローズアップしました。

池原 孝(いけはら たかし) 消化器内科部長



1992. 3 東海大学医学部卒業
1993. 4～2008. 11 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科
2008. 12～2012. 5 済生会横浜市南部病院 消化器内科副部長
2012. 6～2018. 3 東邦大学医療センター大森病院 消化器助教・医局長
2018. 4～ 関東労災病院 消化器内科部長

専門は肝臓病で特に肝臓がんの診断と治療に携わってきました。

特に、経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)を得意とし、これまで約2400例の治療経験があり、他施設で治療困難とされた症例でも良好な局所制御を得ています。

最近では、B型C型肝炎などウイルス性肝疾患や自己免疫性肝疾患の他に、非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)の超音波画像診断と治療にも積極的に取り組んでおります。肝臓病をはじめとする消化器疾患でお困りの際は、どうぞご相談ください。

「地域に必要な医療、地域で要望される医療」を目指します。

三輪 純(みわ じゅん) 消化器内科部長



1990. 3 東海大学医学部卒業
1990. 6～1992. 5 国立病院医療センター 内科
1992. 6～1996. 3 国立国際医療センター 消化器科
1996. 4～1997. 12 海老名総合病院 消化器内科
1998. 1～2018. 3 東芝病院 消化器内科・内視鏡部 部長
2018. 4～ 関東労災病院 消化器内科部長

専門は消化管(上部・下部)です。特に、消化器内視鏡全般、ヘリコバクターピロリ感染症、胃炎、炎症性腸疾患に興味を持って取り組んできました。

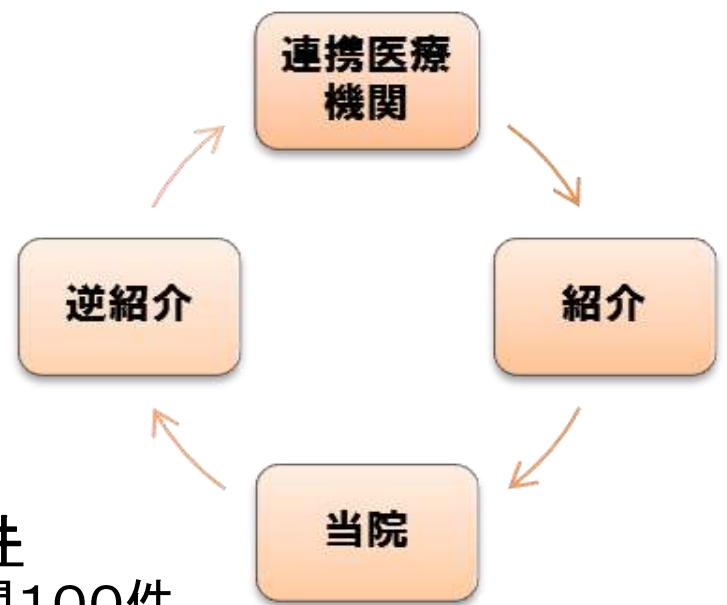
これから沢山の内視鏡検査をさせて頂きたいと思っています。当院の内視鏡センターを敷居の低い“皆さまの検査室”にしたいと思います。お気軽にご紹介(お使い)頂けましたら、ありがたいと思います。

潰瘍性大腸炎、クローン病に代表される炎症性腸疾患は、寛解増悪を繰り返し、長期にわたり綿密なコントロールと経過観察が必要な疾患です。私の経験がお役に立てましたら嬉しく思います。

皆様との“和”を大切に、患者さんのみならず医療に携わる人達にも優しい医療が提供できたら素晴らしいと思います。これからどうぞよろしく願いいたします。

数値で見る医療連携状況（平成29年度）

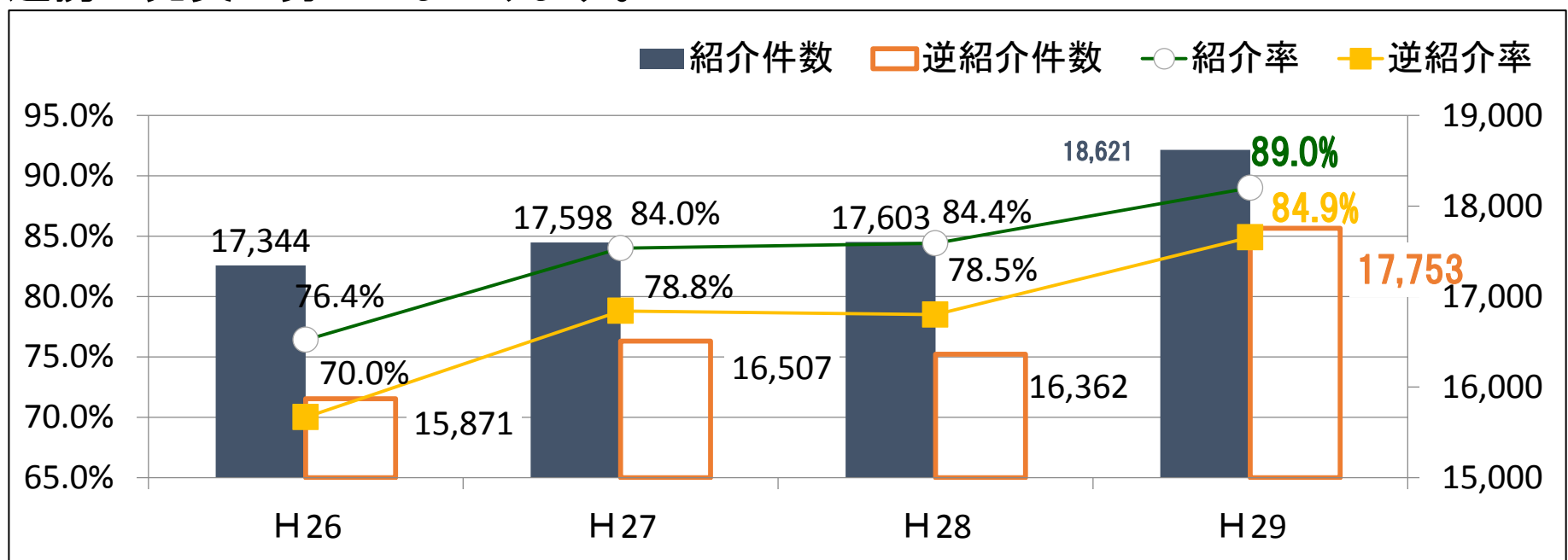
紹介件数	逆紹介件数
18,621件	17,753件



【紹介件数等の動向】

平成29年度につきましては、昨年度より1,018件上回る患者さんを紹介いただきました。また、年間100件以上のご紹介をいただいた連携医療機関は44施設（対前年度+8施設）でした。厚く御礼申し上げます。

今後も引き続き、先生方との「紹介⇔逆紹介のサイクル」を基本とし、地域医療連携の充実に努めてまいります。



※紹介件数及び紹介率等は、地域医療支援病院の要件に基づいて積算した値となっています。

トピックス ～準個室病床の導入～

入院患者さんのプライバシーに配慮された優しい療養環境を提供できるよう、5月15日から準個室病床の整備を進めています。

改修工事が終了した室から稼働しており、6月中には24室96床がリニューアルを終える予定です。ご利用いただきますようお願いします。



病室の設備や利用状況及び室料等につきましては、当院医事課入院係へお問い合わせ願います。

☎044-411-3131（代表）

イベント情報（平成30年度）



〔地域医療連携講演会：定期開催（6月～7月）〕

日時		内容	
6月	14日	木 19:00～	講演：感染症内科医療症例検討会 講師：本郷偉元 感染症内科部長
	21日		講演：外科医療症例検討会
7月	19日		講演：入退院支援の実際

○ 講師、演題等が定まり次第、改めてお知らせします。ご不明な点、今後、希望する演題等がございましたら、遠慮なく地域医療連携室までお申し出願います。
(☎:044-411-3131 mail: renkei4@kantoh.johas.go.jp)

〔関東労災病院地域医療連携講演会〕

講師 日本病院会会長 相澤孝夫 先生

演題 「急性期医療への取り組み ～地域包括ケアとどのように向き合うか～」

日本病院会会長である相澤孝夫先生を講師としてお招きし、以下のとおり講演会及び懇親会を開催する予定です。先生方のご参加をお待ちしております。

日時 平成30年10月25日(木) 19:30～22:00

場所 講演会：川崎市中原市民会館

(中原区中丸子東3-1100-12パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー)

懇親会：ステーキのあさくま武蔵小杉店

(中原区新丸子東3-1156)

～BRIDGE^{PLUS}の発行に当たり～

BRIDGE^{PLUS}(ブリッジ・プラス)は、当院の情報をタイムリーにお知らせすることを目的として発行するインフォメーション・ペーパーです。

3か月に1回定期発行される**関東労災病院医療連携誌「BRIDGE」**でお伝えしきれない情報や当院の取組を中心にお知らせしていく予定です。先生方におかれましては、御高覧の上、ご意見をいただければ幸いです。今後も引き続き、よろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室長 岡崎裕司



当院は地域のランドマークを目指す地域医療支援病院です。

BRIDGE^{PLUS}